

2022年度 事業計画書

(自 2022年6月1日 ~ 至 2023年5月31日)

公益社団法人

日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟(JBLSF)は、日本国内のボブスレー・リュージュ・スケルトンの各競技を統括し、代表する団体として、定款に掲げる目的を達成するため、以下の事業を計画実施する。

1. 競技普及振興活動

(1) そり競技体験会事業

傘下の道府県連盟が主体となり、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にして、小中学生を対象とした体験会事業を実施し、楽しみながらそり競技の魅力を体感してもらうことで、参加者はもとより、家族、友人、学校関係者のそり競技認知度を高める。

事業名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
プッシュボブスレー・スケルトン体験会	大阪・兵庫	未定	未定	20
プラスチックそり大会	宮城	太陽の村	2022/10	30
スケルトン体験教室	北海道	札幌市内	2023/1	50
リュージュ体験教室		藤野競技場	2023/1/27	30

(2) 選手発掘事業

① JSC スポーツくじ事業 タレント発掘

2020年度に策定した、競技別発掘育成計画に基づいて対象選手を継続的に発掘し、ボブスレーとスケルトンは8年、リュージュは15年の期間でオリンピックメダリストに育成する。

■ボブスレー/スケルトン(合同)

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
選手発掘テスト1	愛知	2022/7/2	10
選手発掘テスト2	福岡	2022/7/10	
選手発掘テスト3	東京	2022/7/23	

■リュージュ

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
発掘テスト①	長野	2022/8	10
発掘テスト②	札幌	2022/9	15
発掘テスト③	愛媛	2022/9	30
検証合宿	札幌	2023/1	10
育成合宿①	長野	2022/7	2
育成合宿②	札幌	2022/9	
育成合宿③	長野	2022/11	
育成合宿④	札幌	2023/1	
育成合宿(海外)	アメリカ	2023/3	5

■スケルトン

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
育成合宿1	長野	2022/8/22～8/26	3
育成合宿2		2022/9/17～9/25	
海外育成合宿1	未定	2022/12/10～12/25	
海外育成合宿2		2023/3/11～3/26	

② JSC 委託事業 J-STAR プロジェクト

選手の競技転向を促進させる国家プロジェクトに参画し、スケルトン競技に応募する小学 6 年生から 20 歳までの他競技選手の特性を検証して、次年度からの育成対象選手を発掘する。

事業名称	開催地	開催時期	目標(人)
検証合宿 1	長野	2022/5/13～15	8
検証合宿 2		2022/7/16～18	2～3
検証合宿 3		2022/8/25～27	
検証合宿 4		2022/10/8～10	
検証合宿 5		2023/1/13～15	
検証合宿 6		2023/2/10～12	
海外検証合宿	北米・欧州	2022/11/19～27	

(3) 国際大会・全国大会事業

長野市ボブスレー・リュージュパーク(通称スパイラル)の冬季製氷休止に伴い、JBLSF が運営する冬季大会は今年度も休止とする。

夏季に開催するボブスレー及びスケルトンの全日本プッシュ選手権大会は、昨年と同様に新型コロナウイルス感染症対策を万全に整えて開催し、実践の場を通じた各選手の競技力強化及びボブスレー、スケルトンの振興普及を図る。

事業名称	開催地	会場	開催時期	参加(人)
2022 全日本プッシュスケルトン選手権大会	長野	スパイラル	8/27	30
2022 全日本プッシュボブスレー選手権大会				20

(4) 審判資格者育成事業

審判員資格の取得は、大会運営に必要不可欠な競技役員の確保のみならず、選手やコーチの活動における基礎知識の取得にもつながることから、競技委員会や加盟団体と連携して研修会・講習会を開催し、本連盟公認の審判資格取得試験を行う。また取得者には審判員カードを発行し、連盟主催の大会への参加を要請する。

研修会・講習会では国際審判員資格取得者が講師を行う。尚、競技普及の一助となるよう、参加料・受験料はすべて無料とする。

また、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、WEB 活用も図り事業を行う。

事業名称	開催地	会場	開催時期	(人)
ルール講習会	大阪等	未定	2022/11 月頃	10

(5) 長野スパイラル利用拡大推進事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い活動休止。

(6) 広報・資金調達活動事業

マーケティング委員会を設置し、企業ロゴや企業名を露出する従来からの宣伝効果目的に加え、JBLSF が主体的に企業活動に貢献することで、新規スポンサーの発掘とマーケティング活動を推進する。

スポンサー候補企業や団体から一方通行の資金提供を求めるのではなく、JBLSF が目指す、競技力と人間力を兼ね備えた五輪メダリスト候補の育成プロセスや、トップ選手の世界への挑戦を共有/提供し、企業とトップスポーツが融合した新たな価値を創造する。

事業名称	内容	目標
新規スポンサー発掘	長野/宮城/北海道/愛媛 4 地域に活動特化	6 社発掘
JOC ジョイントマーケティング	TEAM JAPAN ブランドを高める新たな取組み開始	国際大会活用
WEB 活用宣伝	HP と Twitter でそり競技の魅力を日英発信	閲覧者数増

2. 競技者強化と指導者養成活動

(1) 強化事業

-1. ボブスレー

JOC 強化指定選手が不在の為、年度の開始時点での事業計画は未定とする。

-2. リュージュ

国際リュージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に基づき、USLA の育成プログラムを通して、JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
国内合宿	長野	・コントロールテストの実施 ・スタート動作の復習と解析	2022/9/19-21	1

-3. スケルトン

JSC 次世代ターゲットスポーツの支援委託事業で選定した選手を対象に、世界トップの身体能力や技術の獲得を目標とし、スプリント能力を生かした氷上滑走技術力の向上を目指して強化事業を実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
国内合宿 1	愛媛	・スプリント技術習得 ・コンバインテスト項目向上(屋外種目 344 点以上)	2022/5/23-29	2
国内合宿 2	長野	・プッシュタイム向上(自己ベストの更新) ・コンバインテスト項目向上(屋内種目 258 点以上)	2022/8/1-7	
国内合宿 3	北海道	・氷上での初速タイム向上	2022/9/6-12	

(2) 海外遠征・国際レース参戦事業

-1. ボブスレー

JOC 強化指定選手が不在の為、年度の開始時点での事業計画は未定とする。

-2. リュージュ

国際リュージュ連盟(FIL)の支援で締結した、米国リュージュ連盟(USLA)とのパートナーシップ契約に基づき、USLA チームに帯同し、JOC 競技力向上事業で対象選手の強化事業を実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
海外コーチ招聘	レイクプラシッド	・USLA との年間計画会議 ・スタート技術指導等の指導内容打合せ	2022/6/1-4	1
		・USLA との遠征計画会議 ・マテリアル変更打合せ	2022/9/1-4	
海外強化合宿	北米・欧州	・氷上滑走トレーニング ・滑走フォームとスタートタイム向上	2022/10/1 -12/9	
海外遠征	北米・欧州	・氷上滑走トレーニング ・国際大会参加の実践強化	2023/1/4 -2/27	

-3. スケルトン

JOC 強化指定選手と JBLSF 指定選手を対象に、2026 ミラノ・コルティナ五輪に向けた技術力を強化する為、JSC 次世代ターゲットスポーツの支援委託事業と JOC 競技力向上事業で実施する。

事業名称	開催地	目的	開催時期	選手(人)
夏季世界プッシュスケルトン選手権	アメリカ・レイクプラシッド	プッシュ国際水準確認	未定	1
海外強化合宿 1	欧州	国際大会選手決定	2022/10/3-24	2
ワールドカップ	北米・欧州	・国際大会実践力強化 ・ジュニア滑走経験増 ・スタートタイム向上	2022/11/1- 2023/1/23	1
インターコンチネンタルカップ				
ヨーロッパカップ	欧州			
ノースアメリカンカップ	北米			
世界ジュニア選手権	ドイツ・ウインターベルグ			2
世界選手権	スイス・サンモリッツ	国際大会実践力強化	2023/1/24- 2/14	1
海外強化合宿 2	北米	用具調整と滑走技術	2023/2/27- 3/20	2

(3) 指導者養成事業

資格を有した指導者の育成と継続的なコーチング技術の研鑽が、そり競技の発展の源となると考え、以下の事業を実施する。

- ・日本スポーツ協会そり競技専門科目講習会の事前準備と実施
- ・公認コーチ 3 取得希望者への案内、日本スポーツ協会への申請と報告

事業名称	開催地	会場	開催予定時期	目標(人)
公認コーチ 3 養成講習会(基礎理論)	オンライン		2022/8/6-7	6
公認コーチ 3 養成講習会(実技)	長野市	NTC スパイラル	2022/9/3-4	
公認コーチ 3 養成講習会(指導実習)	札幌市	藤野競技場	2023/1/21-22	5

※ 実技・指導実習は対面で実施予定

(4) 長野スパイラルそり競技調査研究事業

長野スパイラルの冬季製氷休止に伴い、スパイラル機材を活用した同事業は休止する。

(5) 医科学サポート推進事業

JOC が掲げる「人間力なくして競技力向上なし」の体現を目指し、3 競技の強化後方支援として、競技力向上に繋がる選手教育や医・科学サポート活動、その研究支援などを行う。

また、人間力の向上を目指し、インテグリティ教育の推進を担う。なお、コーチの資質能力向上や指導力向上に繋がる医・科学情報の提供も念頭に入れ、活動に従事する。これらの活動に関しては、3 競技の強化方針ならびに計画に基づいた連携のもと、計画的に行なわれるものであり、医・科学部単独で行うものではない。

上記に基づき、以下の年間活動と事業を実施する。

① 年間活動

活動名称	目的	対象者
感染症対策ガイドライン更新	世界的な感染動向と国内動向を踏まえて、感染症対策を万全にして事業を推進することを目的に、必要に応じてガイドラインを更新し、選手、コーチへ情報発信を行う	加盟選手 スタッフ
行動規範、行動指針を基にしたインテグリティ教育	行動規範と行動指針を基に、JOCアプリケーションなどを活用しながら継続的に教育を行うことで、社会に相応しい人間力を身に着けることを目的とする	
次世代ターゲットアスリート事業 医・科学サポート(スケルトン)	次世代ターゲットアスリートの競技力向上と人間力育成を後方支援し、メダルポテンシャルアスリートへの育成に貢献することを目的とする	選手 2 名 スタッフ
サプリメントポリシーの運用	派遣対象選手に対して、アンチ・ドーピングを目的に、策定したサプリメントポリシーを運用し、利用管理を行う	派遣対象 選手
要望、状況に応じた 医・科学サポート	特に遠征中のメディカル対応など、コンディショニングを目的に、要望と状況に応じて医師やトレーナー、管理栄養士による医・科学サポートを行う	派遣対象 選手

② 事業

事業名称	開催地	事業目標	開催時期	人数(人)
3 競技合同会議	都内 近郊	行動規範、行動指針を基にしたインテグリティ教育 他競技のオリンピックから学ぶ アンチ・ドーピングの応用知識とサプリメントポリシー 競技力向上につながる医・科学情報の理解	2022/9	40
アンチ・ドーピング 基礎研修	オンライン	アンチ・ドーピングに関する基礎知識の習得	2022/7	30

以上